

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	＊	＊
	○	スーパー（販売企画）	・新規競合店の影響が5月から一巡することになる。そのことだけはプラス要因だが、コロナ禍で県内の観光産業や飲食業等が大変厳しい状況にあり、その影響が景気悪化としてもっと表れてくることも予想される。現状では新型コロナウイルスのワクチン接種の状況が景気を左右すると考えられる。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まると来客数が増えてくるので、売上が期待できる。
	○	乗用車販売店（経理担当）	・観光客も、新型コロナウイルスの感染対策をしながら、少しずつ回復している様子である。海外に行けない分、沖縄に流れる傾向もあるのではないかと。
	□	一般小売店〔酒〕（店長）	・新型コロナウイルスのワクチンがいつになるか分からない。
	□	百貨店（店舗企画）	・前年開催できなかった物産展等で動員を期待しているが、ゴールデンウィーク明けの新型コロナウイルス感染拡大状況でどう転がるか分からないのが現状である。
	□	スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数の状況次第ではあるが、しばらくは来客数の回復が見込めない。
	□	コンビニ（代表者）	・国内の新型コロナウイルスワクチン接種が70%程度終了しない限り大きな景気回復は見込めない。
	□	衣料品専門店（経営者）	・今月の初めは、良い兆しが見えているような感じであったが、新型コロナウイルス対策の自粛要請の影響か、後半に掛けて客の出が悪くなり、客も余り商品に関心を見いだせなくなっている雰囲気である。まだまだ景気の浮上感はない。
	□	衣料品専門店（経営者）	・正直なところ新型コロナウイルス次第である。あとは飲食ばかりではなく、他業種への持続化給付金や国民一人一人への特別定額給付金などの再給付でもない限り、全体の景気回復は難しいのではないかと。
	□	その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・先行きの予約状況は一昨年比50%前後と厳しい状況が続いている。現状の新型コロナウイルスの感染状況から今後も観光関連の回復は見込めない状態であり、行政の早急な支援、対策が必要である。
	□	住宅販売会社（代表取締役）	・当面は建築契約を受注できそうである。ただし、商業店舗や宿泊施設などの建築相談が確実に減少しており、将来的には不安が残る。
	▲	コンビニ（経営者）	・現在の新型コロナウイルスの感染状況が改善する兆しもなく、また、ワクチンの接種状況や効果も分からない状態では期待感を持つ状況にはない。さらにはまん延防止等重点措置の適用により、個人個人の自粛モードの影響は大きなダメージとなっている。また、沖縄への観光客の人流も減少にある等回復の兆しはみられない。
	▲	コンビニ（副店長）	・前月はワクチン接種が開始されたことにより景気回復の期待があり、前年の同時期と比べて回復見込みであったが、主要都市の緊急事態宣言発出に伴い人の流れが止まり、先行きがみえない厳しい状況である。
	▲	通信会社（営業担当）	・月初めは3月からの好調が続いていたが月後半になると客足も落ち着いてきている。今後伸びる要因もないので今月の好調の維持は難しいとみられる。
	▲	住宅販売会社（役員）	・東京、大阪などの緊急事態宣言もあり、不動産取引も少なかれ影響を受けるとみられる。
	×	商店街（代表者）	・今は個店の閉店時間も早くなり、来客数も減っている。世の中が落ち着くためにも、今後の新型コロナウイルスのワクチン頼みかなという感もある。
	×	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・これだけ飲食がたたかれると、スタッフの採用にも影響が出ており、維持のための採用もままならない状態である。売上が立たない分は借金でまかなってきたので、元金返済が始まると多少景気回復したくらいでは追いついていかない。
	×	観光型ホテル（代表取締役）	・来月、再来月の予約は悪い。夏の予約も増えていない。新型コロナウイルスのワクチン頼みの状況である。
	×	観光型ホテル（企画担当）	・ホテルの4月の販売室数は、前年が月半ばから休館していたこともあり前年比413%増なのに対し、4月末時点での7月の予約室数は前年比7%減とマイナスに転じている。

	×	旅行代理店（マネージャー）	・新型コロナウイルスのワクチン接種もなかなか進まないし、緊急事態宣言は中途半端に解除されて感染者は増え続け、海外からの人の流入は止めず、自粛自粛のオンパレードで、どうしようもない。
企業 動向 関連	◎	—	—
(沖縄)	○	食料品製造業（役員）	・前年の巣籠りによるスーパー方面への大幅な売上増加はないものの、堅調な売上増加がみられる。
	□	窯業土石業（取締役）	・今月は見積依頼が若干増加し回復傾向にあるが、新型コロナウイルスの影響は当面続くことが予想され、先行き不透明感もあり現状維持が見込まれる。
	□	建設業（経営者）	・モデルハウスに来場しても、具体的な商談に進む客がパタッと止まった。
	□	輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島の建設関連は、落ち着いていた新型コロナウイルスの感染者数が増加しつつあるなか、官需部門においては、宮古島の陸上自衛隊関連を中心に終盤となっている。民需部門においては、大型ホテル等で回復している。ただし、先島産石材の米軍基地利用が実現できれば、船舶の供給過多が進み、一段と厳しい競争が予想される。
	□	広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルス変異株のまん延による影響を危惧する県内企業が多く、販促活動を縮小又は見送るケースもあることから、しばらくは現状のまま低迷する景気が続くものとみている。
	▲	—	—
	×	—	—
雇用 関連	◎	—	—
(沖縄)	○	人材派遣会社（経営者）	・現在の低迷の大きな原因は新型コロナウイルスによるものだが、ワクチン接種とともに経済回復は進むと予想される。3か月後は少し良くなっているのではと期待を込めて回答する。
	□	人材派遣会社（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が増加している。
	□	求人情報誌製作会社（営業）	・採用を停止又は抑えている企業や、ホテル、観光業界全体が求人再開をするまでにはまだ時間が掛かるとみられ、現在と同数程度の求人数になると予測している。
	□	学校〔大学〕（就職支援担当）	・緊急事態宣言がいつ発出されるか分からない状況であり、社会経済活動が活発化する兆しがみえない。経済活動が現状維持で推移するとみられる。
	□	学校〔専門学校〕（就職担当）	・前年より求人を出すタイミングを早めている企業が多いようにみられるため、求人数の増加は緩やかになると推測される。ただ、今の良い状況は維持されていくとみている。
	▲	求人情報誌製作会社（営業担当）	・県内の新型コロナウイルス感染が拡大傾向にあり、消費者や求人企業の動きが減退傾向になりそうである。
	×	—	—